

江東区 青少年委員だより

No.63号

江東区青少年委員会
広報部

江東区青少年センター
江東区亀戸7-41-16
TEL.3681-7334
FAX.3681-8732

平成26年度 青少年委員会活動スタート



「架け橋」

江東区青少年委員会 会長
小原 良子

私たち青少年委員会は、「次代を担う青少年が、人間として尊ばれ、のびのびと健やかに成長していくこと」を重要な課題として、個人での活動はもとより、青少年委員会といたしましても江東区内都立高校紹介・夢の島中学生体験プログラムなど独自事業も積極的に行っています。

近年、都市化にともなう人間関係の希薄化や地域力の低下、ソーシャル・ネットワークキング・サービス（SNS）の急速な発達など、青少年を取り巻く環境は大きく変化し、残念なことに相次いで青少年が巻き込まれる事件も起きていることなど様々な問題を抱えています。

このような時代にこそ、青少年委員は、学校・家庭・地域の

「架け橋」となり、関係諸団体と連携をして青少年の健全育成に努めていかなくてはなりません。

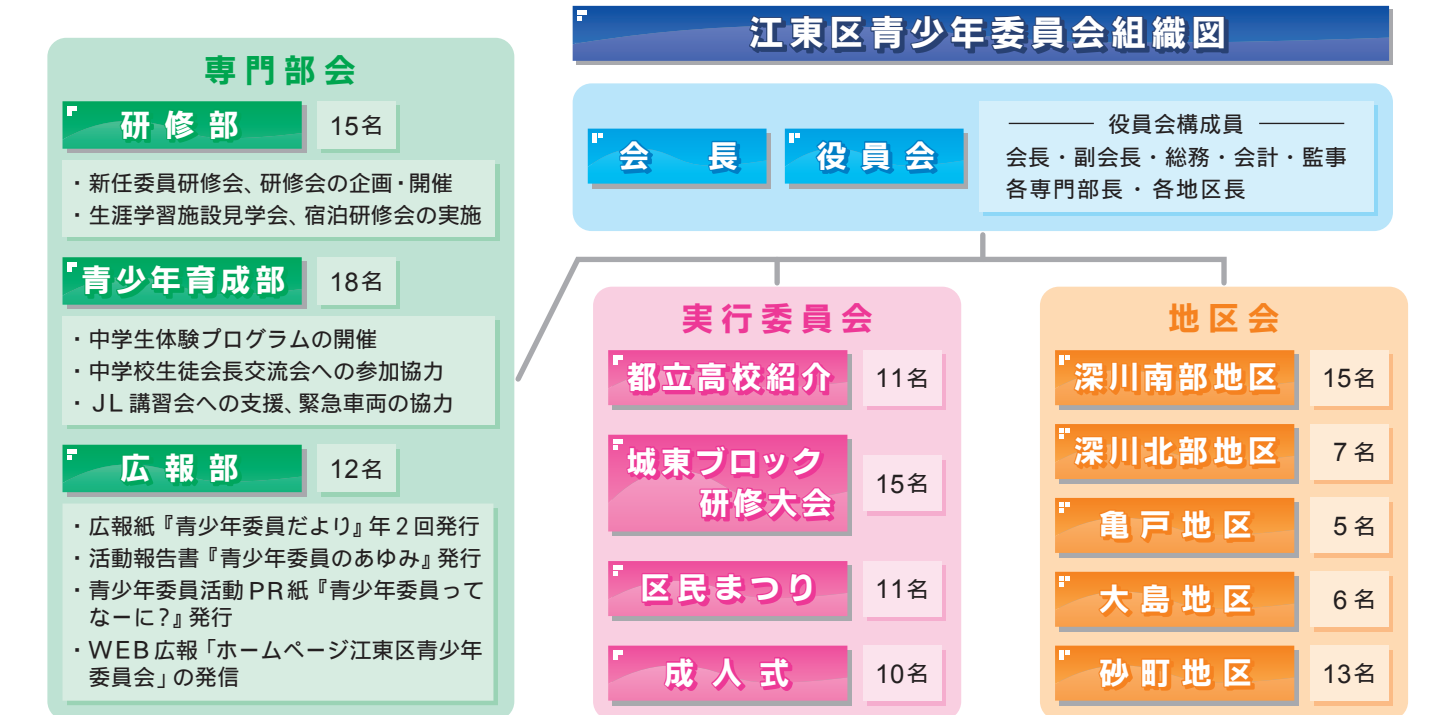
では、～架け橋となる～とはいったいどうすればよいのでしょうか？

そのヒントは、1998年インドのニューデリーで行われた「国際児童図書評議会」における皇后陛下の基調講演の内容を収録した本の中にありました。

…「橋をかける」（文藝春秋 2009年）より抜粋…

生まれて以来、人は自分と周囲との間に一つ一つ橋をかけ、人とも、物ともつながりを深め、それを自分の世界として生きています。この橋がかからなかったり、かけても橋としての機能を果たさなかったり、時として橋をかける意志を失った時、人は孤立し、平和を失います。この橋は外に向かうだけでなく、内にも向かい、自分と自分自身との間にも絶えずかけ続けられ、本当の自分を発見し自己の確立を促していくように思います。

私たちが架け橋となれますように…。



新会長に組織改革についてお聞きしました。

Q. 部の数が減少したのはなぜ？ A. 数年前から提案があり、昨年青少年委員制度発足60周年を迎えたのを機に、組織をスリム化して活動しやすい会に。	Q. どのようなスリム化を？ A. 専門部を5部会から3部会に、また、会全体部が担当していた行事を実行委員会形式にし、全員が両方に参加し協力していく体制。	Q. 定例会について A. 毎月開催とし、定例会の中で研修会などを行い、委員の意識向上を図ってきたい。
--	--	--

平成26・27年度 各部長・各地区長・各実行委員長のご挨拶

● 専門部会



「明るく風通しの良い活動に向けて」

研修部長 鈴木 馨

今期（平成26・27年度）の研修部は15名の精鋭で活動していきます。

新任委員研修会の実施、研修会の企画・開催、生涯学習施設の見学（日帰り研修）、宿泊研修会の実施等を活動目標に掲げています。

これらの研修については、青少年委員同士の親睦を深めながら、委員の見識を着実に高めていくことが最も大事なことであり、と考えております。

今期は、研修部のひとりひとりが積極的に意見・提案を出し合うことのできる環境の中で、みんなが納得し喜び合える活動を心がけていきたいと思ひます。



「今期の抱負」

青少年育成部長 斉藤 翁

今期、青少年育成部の部長を務めさせていただき、斉藤翁です。前期・前々期も少年団体育部会に所属しておりましたので、ある程度は活動に関しての経験はありますが、今期は組織改正による多々ある諸問題に対応できるか非常に不安です。

当部は18名と大所帯ですが、多くの方が青少年の健全育成にたずさわっているベテラン揃いですので大変心強いです。夢の島中学生体験プログラム・中学校生徒会長交流会がメインの活動になりますが、当部以外の委員さんにもご協力いただきたいと、切にお願い申し上げます。今期、微力ですが、よろしくお願いいたします。



「新年度の活動方針」

広報部長 宮原 広美

江東区の深川といえば、様々な名句を生んだ松尾芭蕉。芭蕉の俳諧理念の一つに「不易流行」という考えがあります。「不易」とは永遠に変わらない伝統や芸術の精神。「流行」は新しさを求め、時代とともに変化していくこと。相反するようにみえる流行と不易ですが、ともに風雅に根ざす根源は同じであるという考えです。広報部ではこの「不易流行」を活動方針に掲げます。

先輩から引き継いだ広報活動には、「青少年委員だより」の年2回の発行と、活動報告書「あゆみ」を期の最後に発行するという2つの活動があります。この2つはこれからも続けていくべき青少年委員会での役割である「不易」です。そして、委員がどのようにしたら制作のクオリティを高めながら、楽しく活動していけるか模索し実行していくことが「流行」であると思ひます。

● 地区会



「会の力となれる地区に」

深川南部地区長 青木 裕子

江東区青少年委員会の地区の中で、15名という一番委員数が多い、深川南部地区の地区長を受けさせていただくことになりました。力不足の私ですが、皆様に協力をお願いしながら、今期2年間を頑張っていきたいと思ひます。

全員が楽しく意見の交換をし、各委員会活動などに前向きに取り組んで、会の力となれる地区でありたいと思ひております。そのためにも安心して活動ができるように、連絡、連携を密にして、お互いに補い合いながら行えるよう、地区長として努力したいと思ひますのでよろしくお願いいたします。



「深川北部の和音」

深川北部地区長 池田 治雄

ギターでハ長調（Cコード）を弾くと、ソ・ド・ミ・ソ・ド・ミの和音になります。深川北部7校の委員は自分の役割の音を奏で素敵なハーモニーでこれまでもこれからも活動していきます。

6つの音で7番目の音は何？ 和音の要はチューニングです。音叉でAを確認し調整します。地区長の役割はその機能にあり、音が合わなければ美しくなくなります。

今期2年は耳を凝らしそれぞれが同調しているかをよく聴いて、楽しくしっかりとハーモニーを奏でていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



「より充実した行動を！」

亀戸地区長 藤村 幸弘

今期、亀戸地区長になりました藤村です。前会長の齊藤さん、地区長の高橋さんが退任され、小原さんが新会長、桜田さんが総務になられ、在籍の残りの私が地区長になってしまいました。有力新人の橋本さん、田中さんが新青少年委員になられ、まさに少数精鋭の亀戸地区となりました。

青少年委員会の意向を実直に行動しながらも、より建設的な意見を提案、交換し、より充実した行動をしていきたいと思ひています。この2年間どうぞよろしくお願いいたします。



「大島地区の委員、今期もがんばります」

大島地区長 吉葉 富雄

大島地区は伝統的に続く委員同士の連携の良さと、やるからには楽しくやるということをモットーに活動しています。

活動は学校子ども会を中心にキャンプ、歩け歩け大会、また区民まつり大島地区まつりの子ども広場、地区対行事に積極的に参加しこどもたちの健全育成に寄与していきます。

今年は委員の半数が交代して男性委員が多くなりましたが、パワーアップした活動でほかの地区の委員に負けずに頑張っていきたいと思ひています。



「地区長を引き受けて」

砂町地区長 峰須 政之

砂町地区は深川南部地区の次に学校数が多く、小学校が12校、中学校が6校の18校、青少年委員は第四砂町中学校の伊藤校長先生を含めて13名おります。中には自分の意見を持っている方もおりますが、私は地区長になって初めてその大変さに身震いしております。地区の皆さんの助けがなければとてもできないと思ひますが、前年度地区長であった亀山副会長にも指導していただき、微力ながら砂町地区ひいては青少年委員会のために努力していこうと思ひますので、砂町地区の皆さんも力を貸してください。

● 実行委員会



「さらなる希望をこどもたちのために」

都立高校紹介実行委員長 今野 るみ子

都立高校紹介実行委員会は、新任委員7人・再任委員4人・その中でも都立高校紹介経験者が1人という多少不安もありながら11人でスタートしました。

今年度は8月30日（土）行政からのご協力もいただきティアラこうとうの大ホールで行うこととなりました。

高校生にとってもティアラこうとうの大舞台での発表はとても良い経験となることでしょし、発表を見たこどもたちが、先輩たちに憧れをもってもらえるような体験の場を作り上げられるよう、また、昨年のアンケートに基づいた案件も含め進めたいと思ひております。

地区会探検!!

第1回 深川南部地区 やるなら楽しくやるを をモットーに!!

青木地区長を中心に前向きに取り組む新任5名、校長会の石川先生が加わり15名で動き出しました。

6月12日には初の地区会を開催し、今期の行事確認、特にジュニアリーダー講習会には必ず1回は参加しようということで、参加日程も決まりました。

我が地区は2年に1回開催する三者懇親会を今年度開催予定で、次回7月15日には内容を検討していきます。

各小学校選出の委員として活動し、更に青少年委員の仕事に誠意を持って活動して行くことを確認しあいました。



「平成27年度城東ブロック研修大会に向けて」

城東ブロック研修大会実行委員長 橘 春恵

城東ブロック研修大会とは、墨田区・江東区・葛飾区・江戸川区の4区が順次に研修大会を開催し、青少年の健全育成における研修や情報交換、懇親会等を行っています。

江東区では、19年度に、日本科学未来館見学・研修、23年度に中川船番所からリバーツアー、深川江戸資料館見学を行いました。27年度は、そなエリアで防災体験学習と講演を予定しており、江東区にしかないもの、江東区でしかできないもの、江東区へ行くのが楽しみだ、そして心に残る研修にしたいと思ひています。青少年委員全員参加でのご協力をお願いいたします。



「よりよい区民まつり行事をめざして」

区民まつり実行委員長 村上 敬司

30年間の長期にわたって続いた"もちつき"の後の行事ということで、昨年は"なつかしの縁日"という名称で射的とボン菓子の無料配布を実施しました。昨年はあいにく雨で2日目の途中で区民まつり自体が中止になってしまったのですが、昨年の内容をかえりみつつ今年度の内容を検討しているところです。

委員みんなが丸となって楽しく実行でき、さらに区民の方々にも楽しんでいただける内容となるよう11人の委員で検討していきたいと思ひます。まだまだ試行錯誤しつつの行事になると思ひますので皆様のご協力よろしくお願いいたします。



「一緒に祝おう成人式」

成人式実行委員長 亀山 憲一

今期、成人式実行委員長を務めます副会長の亀山です。

新成人の門出を祝う成人式は江東区の大きな行事です。我々青少年委員は江東区の職員と共に館内や場外でお手伝いをしております。晴れ着や羽織袴、スーツ姿の大勢の新成人が旧友との再会を喜ぶ姿を見ると、こちらまで微笑ましくなります。彼らにとって一生の思い出になるようにお手伝いしたいと思ひます。



気持ちひきしめる 新任委員研修会

今年度の新任委員研修会は5・6・7月の定例会後、3回に渡り行われました。

小原会長から青少年委員の役割や組織について説明がありました。村上副会長からは事業内容を詳しくうかがいました。また、青少年センター田中所長から江東区の青少年行政についてのお話をうかがいました。

新任とはいえ皆さん様々な地域活動にたずさわってきた人たちがばかりですが、この研修を通して青少年委員の活動について、より理解を深めることができたと思ひます。

これからの任期2年間、青少年の健全育成のために「学校・地域・家庭をつなぐコーディネーター」として積極的に活動していかなければと気持の引き締まった研修会でした。

司会をする鈴木研修部長

青少年委員会について説明する村上副会長

青少年センター職員紹介



異動により4月から青少年センター配属となり、青少年委員担当となりました。青少年委員さんは、みなさんお忙しい中、こどもたちのために熱く活動されています。そんな青少年委員のみなさんがのびのびと活動できるよう、バックアップしていきたいと思ひますので、至らない点も多々あるかと思ひますが、よろしくお願いいたします。

大庭 佳奈美

青少年委員担当になり、4年目を迎えました。組織の改革に取り組むなど、みなさんのやる気と活気には毎回驚きと尊敬を覚えます。定例会の回数も増え、みなさんにお会いする機会もぐんと増えました。今年も委員のみなさんと一緒に楽しく活動できるように自分自身、邁進していきたいと思ひますのでどうぞよろしくお願いいたします。

長島 育子

新たな気持ちで!!

平成26・27年度 青少年委員委嘱式

平成26年4月10日（木）、江東区文化センターにおいて青少年委員委嘱式が行われました。新任委員16名を加え、46名が山崎区長より委嘱状をいただきました。委員一人ひとり気持ちを新たに活動を開始しました。



編集後記

我が部は今期、新任4名を加え12名でスタート。各委員がそれぞれアイデアを出し合い、意見を検討し、前期より取り入れてきたPCを活用した紙面作りをしました。今後も青少年委員を身近なものに感じていただけるよう頑張ります。

（I・I）